

# 業務仕様書

## 1 件名

手稲区体育館体育室床保全業務

## 2 業務概要

手稲区体育館体育室の床について、経年劣化により、フローリングのささくれや欠け、鋼製床下地材の破損がおきていることから張替を実施する。

## 3 履行場所

手稲区体育館 (札幌市手稲区曙2条1丁目2-46)

## 4 履行期間

契約締結日から令和5年2月7日(火曜日)まで

※ ただし、現地作業は、長期休館である令和4年9月1日(木曜日)～令和4年12月28日(水曜日)に行うこと。

※ 長期休館中には、空調設備改修工事を実施していることから、作業範囲や搬入経路の重複による接触等がないように、十分に注意すること。

## 5 業務内容

### (1) 大体育室

ア 既存床解体 1,350.5 m<sup>2</sup>

- ・フローリング(イタヤ t28 mm)、床下地板(ラワン合板 t12 mm)、木製根太、大引鋼、鋼製支持脚、点検口(600角 3カ所)、床換気口の枠(木製 60カ所)、レストンゴムを解体する。

イ 墨出し 1式

- ・コンクリートスラブ面に支持脚や大引などの位置と割付を墨出しする。
- ・支持脚や大引などの位置と割付については、現地作業前に図面を作成し、事前に担当職員の承諾を受けること。

ウ 鋼製床下地組 1,350.5 m<sup>2</sup>

- ・根太のピッチは300 mm程度とし均等に配置する。
- ・根太の跳ね出しは200 mm以下とし、大引きの先端から150 mm以内の位置に設ける。
- ・大引きのピッチは900 mm程度とし均等に配置する。
- ・大引きの水平は、支持脚の調節ボルトで調整を行い、すべての水平を確認してから、調整ボルト及び取付金物等で固定する。
- ・支持脚のピッチは900 mm程度とし均等に配置する。

- ・支持脚はビス又はアンカーボルトで2点固定する。
- ・器具庫から移動式バスケットゴール設置位置までの経路及び器具庫周囲は、支持脚のピッチを450mm程度とする等により、移動式バスケットゴールの荷重で床仕上げ材が破損しないように配慮すること。

※移動式バスケットゴールは、別添 大体育室平面図 3-4 通り間の器具庫に保管されている。

※移動式バスケットゴールの重量は、約1,000kg。

【使用材料】根太鋼 29×35×64×t1.2

大引鋼 50×50×1.6

支持脚 H600（一般体育館用）（三洋工業、スリーベース 101 想定 同等品可）

エ 床合板張 1,350.5 m<sup>2</sup>

【使用材料】構造用合板特類2級 C-D t12mm

オ フローリング張（複合フローリング ダボなし隠し特殊張り） 1,350.5 m<sup>2</sup>

- ・移動式バスケットゴールの荷重によりひび割れや欠けが発生しない、及び乾燥収縮の少ない材料を選定すること。

【使用材料】複合フローリングナラ又はカバ t18mm

（樹脂含浸単板、表面単板6mm）（北海道パーケット工業、スペシャルハイド versionIV想定 同等品可）

カ 床点検口取付（開口部補強、コーキング含む） 4カ所

【使用材料】600角 一般型貼物用アルミ製鍵付

キ 床換気口取付（開口部補強含む） 60カ所

- ・既存床換気口蓋（200mm×900mm、ゴミ回収網付）を再利用する。
- ・既存床換気口蓋のゴミ回収網が老朽化しているため、ゴミ回収網の取り換えを行う。

ク 水性ポリウレタンクリア塗装 1,350.5 m<sup>2</sup>

- ・フローリング材のメーカー仕様に合わせた仕様、施工回数とする。

ケ 床金物取付 バレーボール用4カ所、テニス用4カ所、バドミントン用16カ所

- ・既存床金物（都村製作所製）を再利用する。

コ ライン画線

- ・ライン画線については、現地作業前に図面を作成し、事前に担当職員の承諾を受けること。

【使用材料】油性ポリウレタン樹脂塗料

【種類・色・数量】

- ・バスケットボール (28m×15m)、移動式バスケットゴール用ポイント 茶色 2面
- ・6人制バレーボール (18m×9m)、9人制バレーボールコーナーポイント 紺色 2面
- ・バドミントン (13.4m×6.1m) 緑色 8面
- ・テニス (23.77m×10.97m) 赤色 2面
- ・フットサル、ハンドボール (バスケット兼用) 灰色 2面
- ・ミニバレー (テニス兼用) ライトブルー 2面

サ レストンゴム取付 124.5m

【使用材料】高さ5cm程度のもの(既存同等品)

## (2) 小体育室

※使用材料及び施工方法等について特記がない場合は、大体育室と同様とする。

ア 既存床解体 427.5㎡

- ・フローリング (ナラ t18mm)、床下地板 (ラワン合板 t12mm)、木製根太、大引鋼、鋼製支持脚、点検口 (600角 1カ所)、レストンゴムを解体する。

イ 墨出し 1式

ウ 鋼製床下地組 427.5㎡

エ 床合板張 427.5㎡

オ フローリング張 (複合フローリング ダボなし隠し特殊張り) 427.5㎡

- ・乾燥収縮の少ない材料を選定すること。

【使用材料】複合フローリングナラ又はカバ t18mm

(樹脂含浸単板、表面単板6mm) (北海道パーケット工業、スペシャルハイド versionIV想定 同等品可)

カ 床点検口取付 (開口部補強、コーキング含む) 2カ所

キ 水性ポリウレタンクリア塗装 427.5㎡

ク 床金物取付 バレーボール用2カ所、バドミントン用6カ所

- ・移動鉄棒用の床下基礎があるが、利用しないため、床金物を設置しないこと。
- ・既存床金物 (都村製作所製) を再利用する。

ケ ライン画線

【種類・色・数量】

- ・6人制バレーボール (18m×9m)、9人制バレーボールコーナーポイント 紺色 1面
- ・バドミントン (13.4m×6.1m) 緑色 3面
- ・ミニバレー、ソフトバレー (バドミントン兼用) ライトブルー 3面

コ レストンゴム取付 85.7m

(3) 共通項目

ア 産業廃棄物処分 1式

イ 発電機リース (水性ポリウレタンクリア塗装サンダー用) 1式

ウ 揮発性有機化合物室内濃度測定 施工前7ポイント、施工後7ポイント

【測定物質】ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、  
パラジクロロベンゼン

【測定方法】拡散方式

エ 養生 1式

オ 清掃片づけ 1式

(4) 点検・検査項目

以下について点検・検査を実施すること。

- ・床の高さ
- ・床の水平レベル (水平精度は床全体の公差±5mm以内とする。)
- ・周辺部との取合い及び間隙等
- ・がた及び緩み
- ・目違い
- ・補強カ所

※再利用する床換気口の蓋の水平レベルや床との段差については、上記によらない。

(5) 留意事項

- ・空調設備改修工事を実施していることから、搬入出動線及び資材置き場は、別紙位置図・配置図を参考に、関係者とよく協議して場所を決定すること。

## 6 提出書類

提出書類	部数	提出期限
(1) 作業着手前 業務計画書（使用材料一覧、施工方法、連絡体制等）	2部	いずれも作業開始前までに担当職員の承諾を得る。
使用材料の安全データシート	2部	
工程表※1	1部	
図面（鋼製床割付図、ライン画線図）	2部	
(2) 業務完了時		
業務完了届（札幌市様式）	1部	
業務完了報告書（写真他）	2部	
マニフェスト伝票の写し	1部	
揮発性有機化合物室内濃度測定の測定結果	1部	

※1 工程に変更が生じた場合には、速やかに変更工程表を提出すること。

※2 担当職員及び施設管理者等と協議した際には、協議簿を作成し担当職員に提出すること。

※3 写真撮影に際しては、作業内容、工程が具体的に掌握できるように撮影すること。

## 7 その他

- (1) 本業務を実施する際には、担当職員及び施設と十分打合せを行い、利用者の利便性や安全性に配慮するとともに、運営に支障がないよう円滑な進行を図ること。
- (2) 業務対象場所等には重要な機器もあるため、作業の安全及び他の設備へ障害を与えぬように十分注意をすること。なお、不慮の事故が発生した場合においては、速やかに担当職員に報告すると共に、担当職員の指示に従い受注者の責任において一切を処理すること。
- (3) 業務完了後の清掃、片付け等については十分に実施し施設へ引渡すこと。
- (4) 業務の実施にあたっては、関係法令を遵守すること。
- (5) 本業務の作業により発生した撤去品、消耗品等は、マニフェスト伝票の写しを報告書に添付すること。また、処理施設については、原則、市内の処理施設とし受け入れ条件等を確認の上、発注者へ確認をすること。
- (6) 石綿含有建材の除却及び処理にあたっては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築解体工事共通仕様書（平成31年版[平成31年5月改定]）」に基づき作業を行うこと。
- (7) 未使用機器等の電源切断の励行による節電、再生紙の積極利用など、環境に配慮した資源の利用に留意すること。
- (8) その他、業務の実施に関して疑義が生じた場合は、担当職員と打合せの上遺漏のないよう遂行すること。
- (9) 使用する材料は、「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」に適合するものを用いることとし、安全データシート等を事前に提出すること。